

北陽だより

今年度の重点目標 「確かな学力と温かみあふれる北陽小」
伝え合う力を軸に

〈 学校教育目標 〉

◇考 え る 子
◇助 け 合 う 子
◇ね ば り 強 い 子
◇た く ま し い 子

「心で伝え合う」

校長 金崎 徳子

新緑がまぶしく、さわやかで北海道らしいとても過ごしやすい季節になりました。6月4日（土）に予定している運動会に向け、リレーやダンスの練習をするなど、外での活動も多くなっています。当日は、天候にめぐまれ、子どもたちがのびのびと力を発揮できる運動会になるよう祈っているところです。

さて、今回は今年度の合言葉について書きたいと思います。合言葉は、子どもたちが、具体的にどんな姿で頑張ればいいのか分かるように「目と耳と 心で伝え合う 北陽っ子」と設定しました。「目と耳と」は、学習や人との関わりの基本となるのは、しっかり聞くこと「耳だけでなく、目と耳で聞くんだよ。」と指導しています。

「心で伝え合う」は「相手がどんな気持ちになるのか考えて伝える。思いやりの心を忘れずに伝え合いましょう。」という意味です。低学年のうちは、発達段階としてはまだまだ自己中心的で、思ったことをそのまま言ってしまうとトラブルになるのはよくあることです。言っていることと悪いことを知識として理解することも大事ですが、言われたり、されたりした相手がどんな気持ちになるかを思いやる力が大事だと思います。そのためには、自分の経験や読書やアニメなどを見ることで疑似体験したことと、今起きていることをつなげて相手の気持ちを想像する力が必要です。それが常に瞬時にできる人は、「思いやり深く優しい人」となるのだと思います。また、前段で「低学年は自己中心的」と書きましたが、発達のスピードには個人差があります。これまでの経験ですでに十分に思いやりの心が身についている子もいれば、まだまだ相手のことを思いやれない子もいます。学校という集団の場では、大なり小なりトラブルは必ずあります。心に一生消えない傷を負うようなトラブルは全力で避けなければいけませんが、小さいトラブルはその子にとって長い目で見るとプラスの経験になることもあります。一つ一つの経験が、「心で伝え合う北陽っ子」へとつながることを願っています。

学校運営協議会スタート

5月26日（木）、今年度第1回目の学校運営協議会が開かれました。

学校運営協議会制度についてや、今年度の学校経営方針、組織体制、教育活動の様子等について、説明、協議を行いました。協議の中で、学校運営協議会制度について、広く知っていただくことがまず大事であることや、今後活動を進めていく上での課題などについて活発な意見交換が行われました。

下記は、今年度の学校運営協議会委員の皆様です。

1年間よろしくお願いいたします。

学校運営協議会	会 長	様
	副会長	様
	委 員	様
	委 員	様
	委 員	金崎 徳子
	委 員	宇野 嘉純



今年度の合言葉 目と耳と 心で伝え合う 北陽っ子

☆前田沙理さん来校☆



5月26日、平昌・北京オリンピックバイアスロン代表の前田沙理選手が本校に来校されました。折角の機会なので、子どもたちに向けて講演していただき、その後、各教室を回りました。前田選手が来ていると分かった子の中には「サインが欲しい。」という子も沢山いて、サイン待ちの長蛇の列になりました。

並んでいた子全員にサインをしてくださった前田選手。講演では、「何か困難にぶつかったときに『できない』と逃げ出すのではなく、頭を使ってやってみようとする。やってみて失敗して、次また失敗して、この繰り返しこそが目標や夢に近づくために必要です。」と話されました。お話には大変説得力があり、子どもたちの心にも響いたと思います。前田沙理さん、ありがとうございました。



☆1年生を迎える会☆

5月16日（月）に「1年生を迎える会」を行いました。密を避けるため、体育館には、1年生と発表する学年だけが入り、その他の学級は自分の教室でリモート配信された映像をテレビで見ました。

1年生のために、それぞれの学年で、ゲームやクイズなどを考えて発表していました。どの学年の発表にも、1年生は喜んで、食い入るように見たり、楽しそうに参加したりしていました。プレゼントももらい、いい思い出になりました。1年生にとっては小学校の仲間入りを、2年生以上は上級生になったことを実感することができたと思います。



☆マスクについての考え方☆

北海道教育庁および、倶知安町教育委員会の指導にもとづき、現在、以下のような考え方に立って指導しています。

これまで感染症対策においてマスクの着用を指導してきましたが、改めて、気温・湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症などの健康被害が発生する恐れがあるためマスクを外すよう指導しています。

熱中症は命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させています。

また、子どもが暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるよう指導しています。

体育のときなどは、教室にマスクを置いておくことを基本とします。前後の間隔を広げ、しゃべらないことを指導します。どうしても外したくない子に対しては、まず保護者と相談し、それでも「つける。」となった子に対して、その子を責めたりすることがないように指導します。

運動会におきましても、保護者の方も含め、「熱中症対策」を優先させるとともに、その場に一人一人にとって「安心・安全」で不愉快な気持ちにならないよう、ご配慮いただきたいと思います。

今後、状況に応じて対応が変わることもありますので、その際はまたお知らせいたします。

☆おなやみポストについて☆

お悩みポストは、子どもが、いじめに関することや学校生活・家庭生活での不安や悩みを在籍する学校に伝えることができる手法の一つです。北海道教育委員会のWebページに相談を受け付ける窓口（以下「おなやみポスト」という。）が設置されましたのでお知らせいたします。右のQRコードから、アクセスできます。



北栄親和会より、花の苗代の寄付がありました。ありがとうございます。大切にさせていただきます。